

アーチル発達障害基礎講座(初任支援者向け) 第二部

# アーチルの役割機能と 関係機関との連携による地域支援

北部発達相談支援センター 成見憲介

アーチル発達障害基礎講座(初任支援者向け) 第二部

## 動画の流れ(3本立て)

- 1 発達相談支援センター(アーチル)について
- 2 アーチルの相談の現状と課題
- 3 地域での発達支援充実に向けた関係機関との連携

## アーチル発達障害基礎講座(初任支援者向け) 第二部

### 1 発達相談支援センター(アーチル)について ～ 生涯ケア・将来の自立に向けて ～

# 発達相談支援センター(アーチル)とは

- 発達障害のある本人とその家族を対象とした  
仙台市直営の相談機関

本人・家族とともに



- ・発達相談(療育)
- ・地域での相談・支援

地域・市民とともに



- ・市民への普及・啓発
- ・地域との連携・協働

- 「アーチル」という愛称は「アーチ(橋)」と「パル(仲間)」をかけたものです  
障害のある方やその家族と地域の様々な方との「架け橋」になるようにとの願いが込められています

# 沿革・機能

乳幼児(0歳～就学前)

学齢児(小1～18歳)

成人(18歳以上)

昭和53年度

心身障害者相談センター

早期出会い・生涯ケアを  
目指して設置

平成元年度

児童相談所

更生相談所

政令市となり、児童相談所と  
更生相談所に機能を引継ぎ、  
発展的解消

平成14年度

発達相談支援センター(アーチル)

【再統合＋機能強化】

対象者の年齢、知的障害の  
有無に関わらず、発達障害  
児者を支援できるよう、  
3つの機能を持たせ、発達相  
談支援センター(アーチル)を  
設置

3つの機能

① 児童相談所の障害児相談、判定等の業務

② 知的障害者更生  
相談所の専門相談

③ 発達障害者支援センターの専門相談

【機能拡充】

平成24年度

北部・南部発達相談支援センター

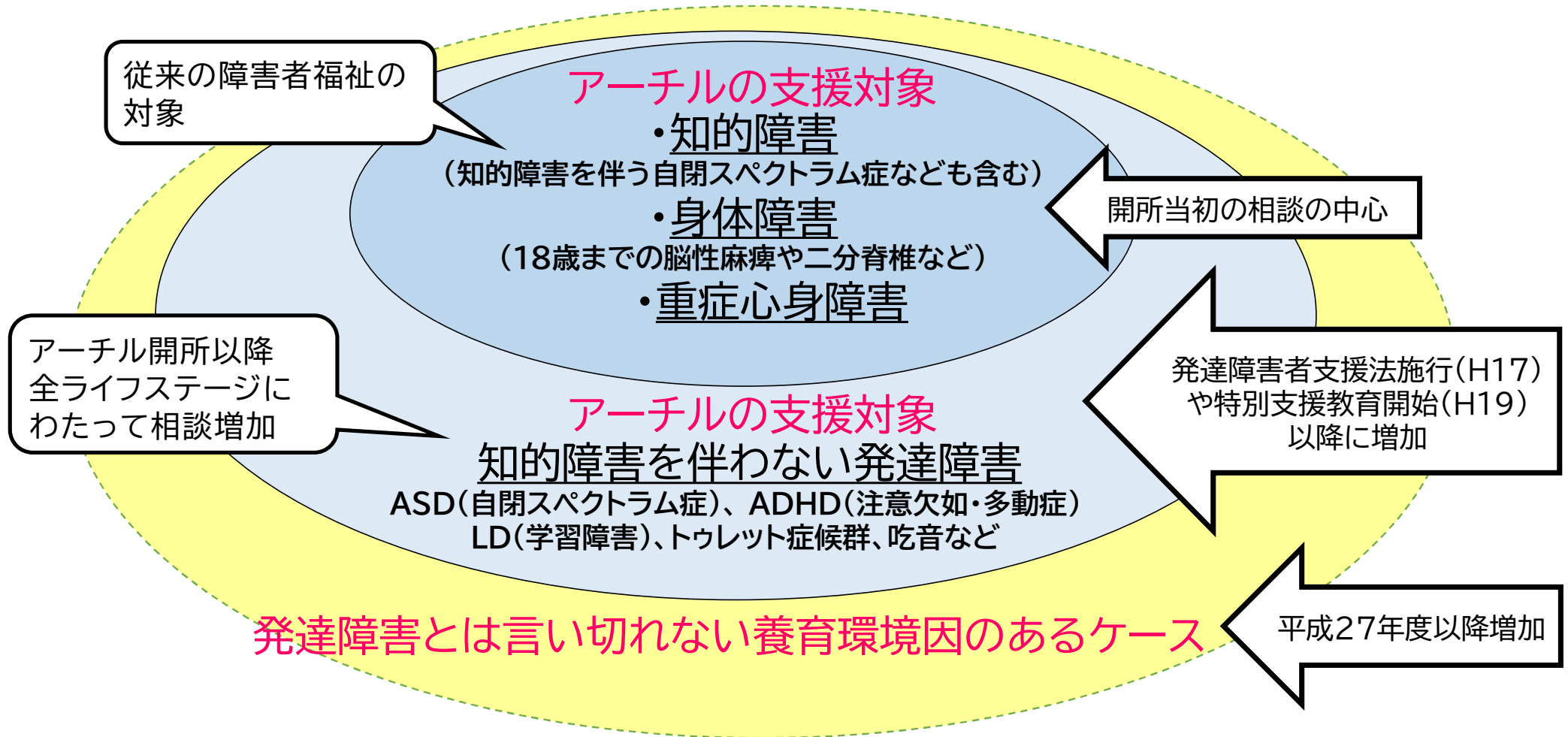
相談件数の増加に対応する  
ため、南北2館体制に増設

平成30年度

④ 診療所機能(保険診療)

常勤医(2名)の配置

# 相談につながる層の広がり



# アーチルの組織



北部アーチル  
(平成14年4月開所)

場 所: 泉区泉中央  
担当区: 青葉区  
宮城野区  
泉区

総務係

企画調整係

乳幼児支援係

学齢児支援係

成人支援係

仙台市(令和7年度)  
政令指定都市(5区)  
人口 約109万人



職員数(再任用・会計年度任用含む)  
北部 89名・南部 57名

医師(南北兼務※)  
常勤 2名・非常勤 14名



南部アーチル  
(平成24年1月開所)

場 所: 太白区長町南  
担当区: 若林区  
太白区

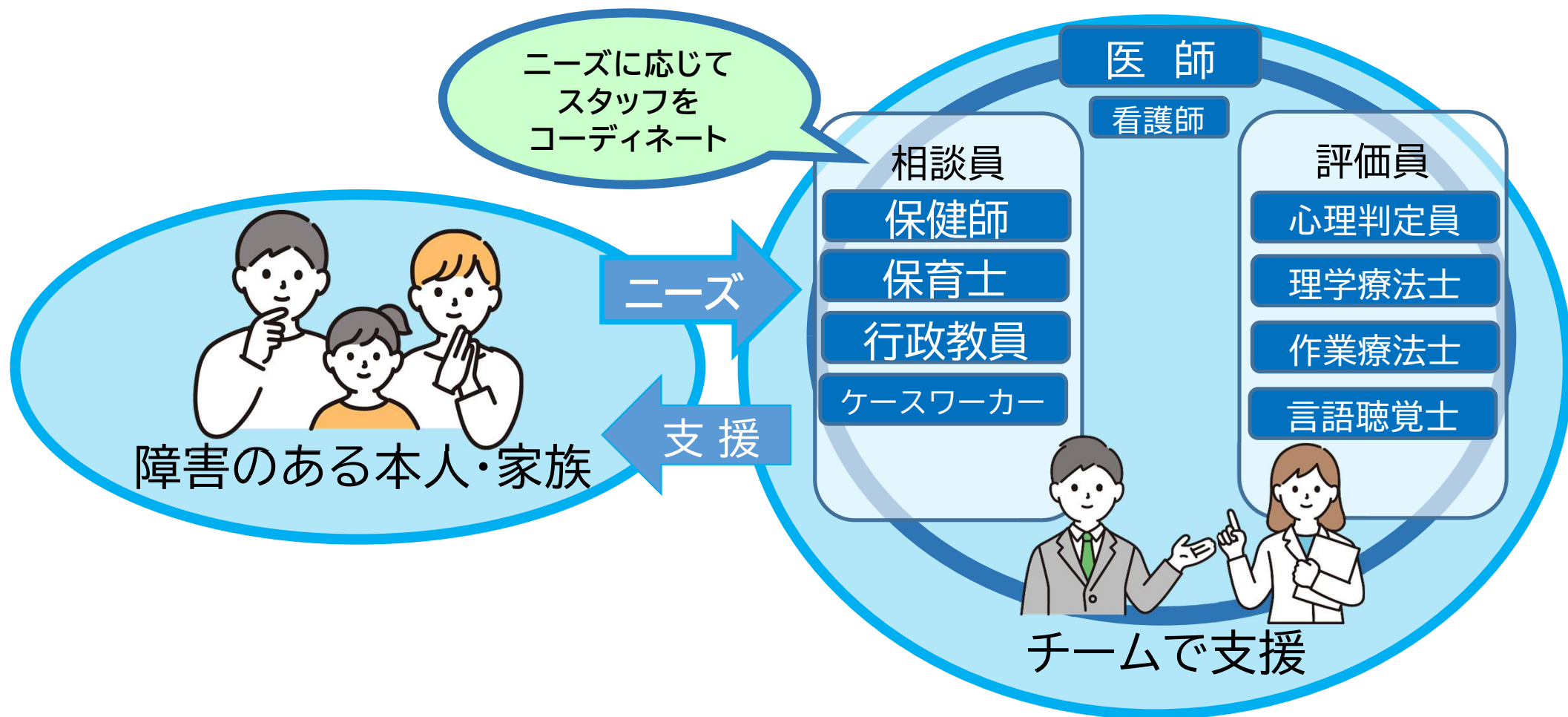
総務係

乳幼児支援係

学齢児支援係

成人支援係

# 「チーム・アプローチ」による相談支援



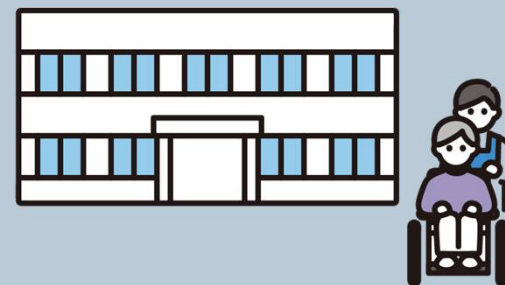


# アーチルのおもな業務

## 相談支援



## 施設支援



## 普及啓発



## ネットワーク構築



# アーチルの理念 (心身障害者支援センターより継承)

発達障害のある方が健やかに育ち、  
地域で生き生きと暮らせるために

発達に心配がある  
本人・家族との

早期出会い

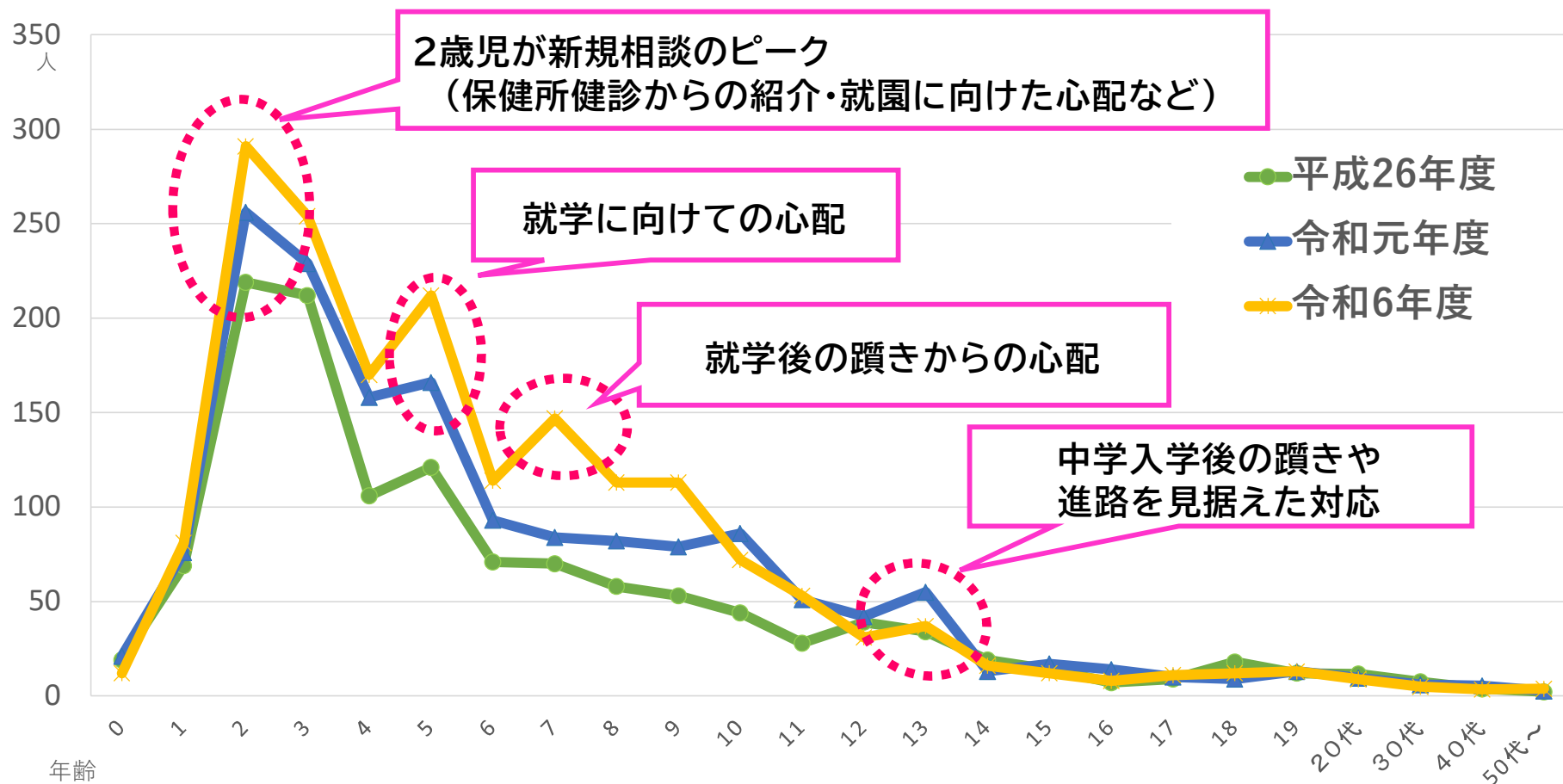
乳幼児期から  
成人期まで一貫

生涯ケア

関係機関との連携  
普及・啓発

地域生活の支援

# 新規(初回)相談件数の年齢別推移



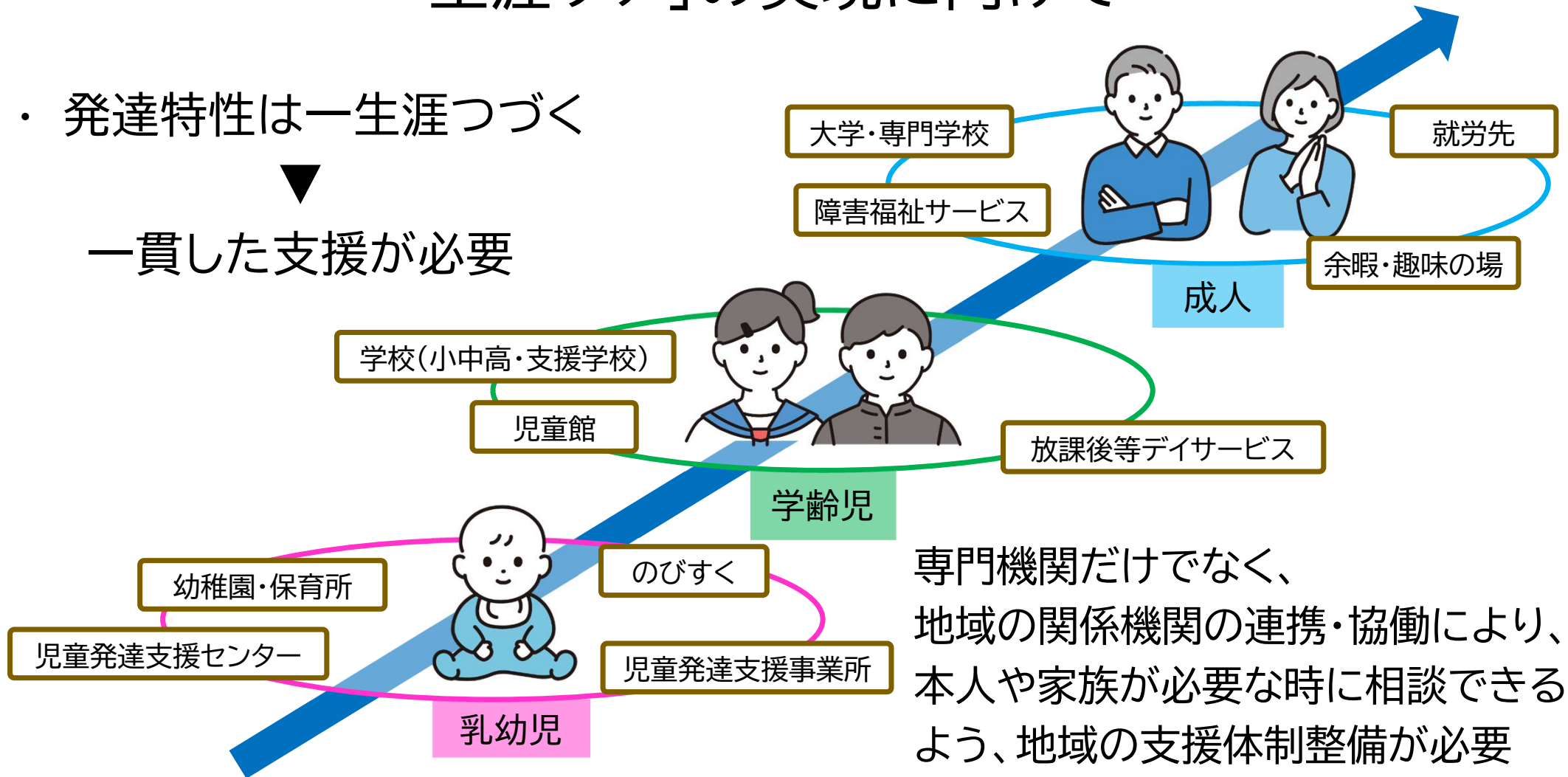
※20代~50代の各年代の数値は、各年齢の平均値

# 「生涯ケア」の実現に向けて

- 発達特性は一生涯つづく



一貫した支援が必要



専門機関だけでなく、  
地域の関係機関の連携・協働により、  
本人や家族が必要な時に相談できる  
よう、地域の支援体制整備が必要

# 成人期の「自立」と「社会参加」が目標

## ・「自立」とは

自分の望む生き方を自分なりに決定し、  
必要に応じて、周りの手助けももらい  
ながら実現していくこと

自立

社会参加

成人

自信が持てない

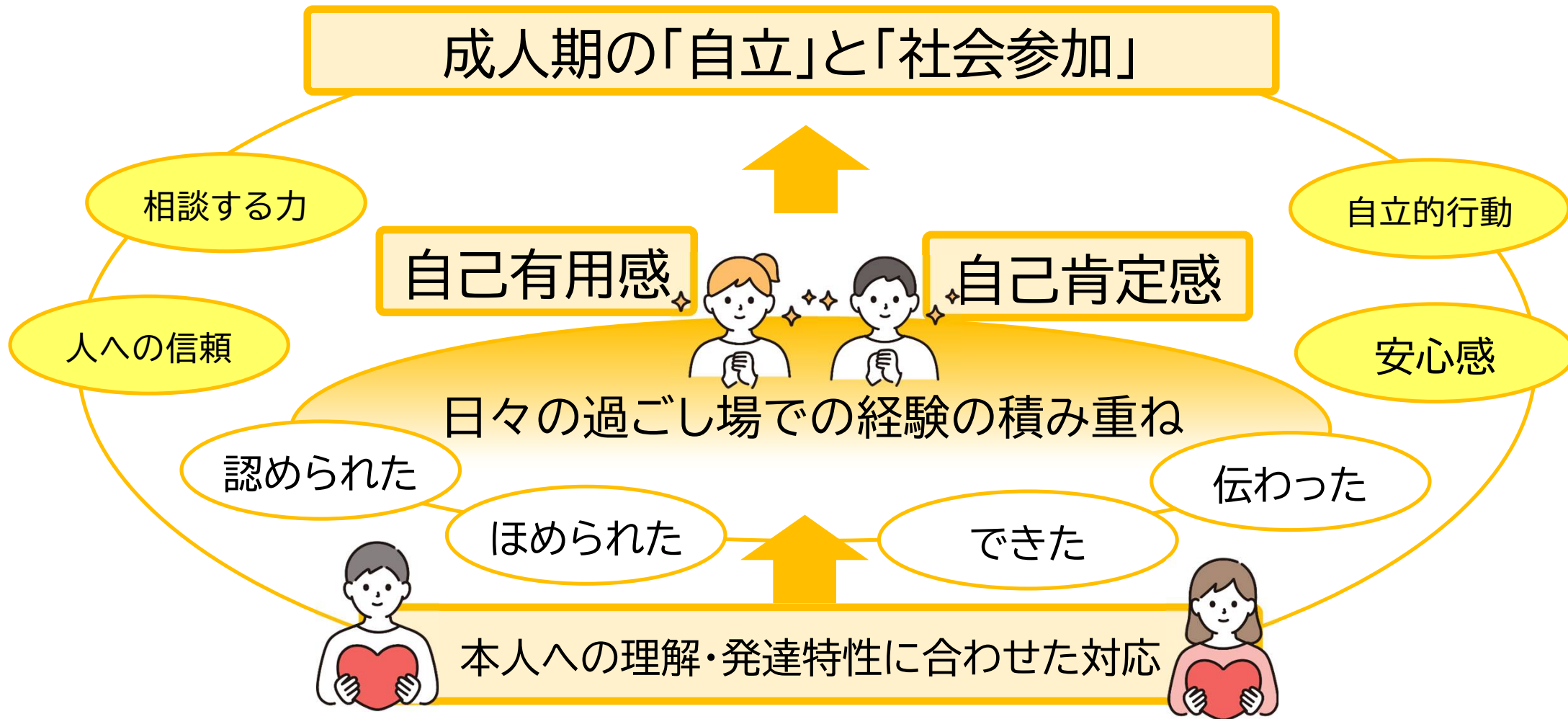
集団がこわい

人と接するのが不安…

意欲がわからない

- ・ 成人期の「自立」と「社会参加」を実現するためには、「2次的な問題」の予防が重要

# 関係機関との連携で共有したい視点



## まとめ：将来を見据えた支援の視点

- ・ 成人期の「自立」と「社会参加」が支援の目標
- ・ そのためには「2次的な問題の予防」が重要
- ・ 支援のベースに必要なことは、
  - 周囲の理解
  - 特性に合わせた対応

